

## 第 13 回 揖保川流域委員会 審議結果速報

---

日時：平成 17 年 5 月 30 日（月）14：00～17：00

場所：宍粟市 宍粟防災センター

### 委員会の主な内容

#### 1．住民意見の反映のあり方について

前回の第 12 回委員会、第 6 回情報交流分科会での審議を踏まえた「住民意見反映のあり方に対する意見書 -河川整備計画策定時-（案）」の内容を確認し、同日付けで河川管理者へ提出することとなりました。

#### 2．揖保川河川整備計画（治水）の基本的な考え方

河川管理者より「揖保川河川整備計画（治水）の基本的な考え方」の前半の説明があり、昨年揖保川流域委員会が提言した内容に答える形で、これまでに揖保川流域で過去に実際にあった 15 の洪水を選び、その中の代表的な洪水について氾濫シミュレーションを実施した結果が紹介されました。

揖保川の治水の基本的な考え方として、概ね 30 年間の計画とすること、「量的安全度の確保」、「質的安全度の確保」及び「危機管理対策」の 3 つを治水対策の基本構成とすること、が示され、その中の「量的安全度の確保」となる「流す」方策の検討としては、現在の継続事業、堤防の質的対策及び 30 年間の想定事業規模を勘案して試算した結果、昭和 47 年 7 月 12 日の洪水を対象洪水とする考え方が示されました。

河川管理者の説明に続いて、説明内容に対する質疑が行われました。

#### 3．今後の予定

今後の大まかな審議の流れについて河川管理者から説明がありました。次回は「揖保川河川整備計画（治水）の基本的な考え方」の後半として、具体的な整備事業の計画についての説明が行われる予定です。

次回委員会は 7 月 26 日（火）を予定することが確認されました。

（ 次回委員会開催日については、変更されることもあります。）

#### 4．傍聴者からの発言

1 名の傍聴者から、住民意見反映のあり方に関する議論の継続と、山の保水力の検討についての要望がありました。